

III 研究活動

1 研究活動概要

本学では、教育研究上の特徴として「デザイン学部と看護学部の連携」ならびに「幅広いネットワーク」を掲げている。また、教育研究上の目的として「学術研究の高度化等に対応した職業人の育成」ならびに「産業・文化の振興、まちづくりや、市民の健康保持・増進への貢献により大きな価値を生み出す『知と創造』の拠点形成」を掲げている。

平成22年度は、この特徴と目的を念頭に置き、デザイン学部教員34名、看護学部教員42名、計76名が研究活動を行った。

2 個人研究費による研究一覧

デザイン学部

教員名	研究課題
原田 昭	・札幌市立大学の国際関係事業の展開と、地域連携事業の展開
酒井 正幸	・ユニバーサルデザイン研究 ・動物園のランドデザイン研究
城間 祥之	・3D CAD・CAGD によるRapid Prototyping 向き形状モデリングに関する研究
中原 宏	・市街地の形成と形態に関する研究
石崎 友紀	・工学的性能と審美的性能の均衡 ・地域様式デザイン製品開発 ・道具学探究
上遠野 敏	・現代美術創作研究 ・同時代の美術研究 ・日本の美意識の研究
齋藤 利明	・オールビスクによる創作人形制作研究と人形を主体とした空間演出
杉 哲夫	・プロダクトデザイン事例研究およびデザイン開発
武邑 光裕	・ソーシャルメディア環境における創造産業（Creative Industries）の諸可能性に関する研究
羽深 久夫	・北海道における歴史的建造物の保存・再生・活用 ・米国・東欧・北欧における木造建築の保存・再生・活用 ・日本および世界における医療施設・福祉施設の調査 ・世界の高等教育機関における建築教育調査と相互交流
原 俊彦	・ドイツと日本における無子の増加に関する研究 ・超少子高齢化・人口減少社会に対応した社会保障システムのデザイン ・日本の長期出生動向に関する分析
望月 澄人	・CGアニメーションの制作
矢部 和夫	・都市および自然生態系における生物多様性の保全と再生に関する研究
吉田 和夫	・組織活性化におけるVI（ビジュアル・アイデンティティ）の役割とその生成について
吉田 恵介	・地域景観資源評価手法の開発と景観デザイン
武田 亘明	・ICTを活用したメディア教育の研究 1) 情報を読み解く力の育成教育に関する研究 2) 手書き入力・自動採点システムによる放課後自学自習用電子教材の開発
張 浦華	・形態と感性評価の相関要因に関する研究